

指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名：福岡県立ももち文化センター
- 2 指定管理者名：JTB九州・ファビルス共同事業体
- 3 指定期間：平成27年4月1日～平成32年3月31日
- 4 施設設置目的：県民に文化活動の場を提供し、芸術文化の振興を図る。
- 5 管理運営についての点検結果（平成29年4月1日～平成30年3月31日）
 - (1)点検方法：事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。
 - (2)点検結果：別添のとおり

1 管理運営状況総括表

| 大項目 | 事業計画（取り組みや改善の内容等） | 管理運営の概要 |
|---------------|---|--|
| ①公共性（公益性）の確保 | <p>・施設の設置経緯と目的を踏まえた施設運営の理念を定め、広く県民に親しまれる施設として文化振興に寄与する。</p> | <p>・ももち文化センターの設置目的を踏まえた上で、管理運営理念「県・地域の課題を地域文化を通してともに解決していく施設へ」のもと、県民の主体的で多様な文化活動と地域社会を積極的に支援・けん引し、県民の方々に親しまれる施設運営を行い、本県の文化芸術の振興を図っている。</p> <p>・ふくおか県民文化祭等、県事業に積極的に協賛し、県施策への貢献と施設のPRに努めた。</p> |
| ②施設利用及びサービス向上 | <p>・多くの県民が文化芸術に親しみ、参加できるよう、利用者の声を聞き、ソフト面、ハード面の両方からサービス向上に努める。</p> <p>（目標：利用者数 400,000人）</p> <p>・これまでの自主事業を踏襲しながら、「舞台芸術の振興と文化団体の育成の場」の原点に立ち返り、また、地域文化の拠点として地域コミュニティをつなげる自主事業を行う。</p> | <p>・施設の維持管理者としての専門性を活かし、築45年を経過した施設の機能維持と安全性の確保に常に注意を払い、施設利用に支障が出ないように、吸収式冷温水器の劣化や故障に伴う修繕（全6回）、外壁・建具・舞台装置の予防保全による修繕を迅速に行うなど、不具合や危険箇所の早期発見、早期対応に努めた。</p> <p>・施設におけるサービス向上のため、本館2F～4F・大ホールのトイレ便座（7箇所）をウォシュレット機能付きに変更、1Fからトイレに降りる階段への手すりの設置、本館2F～4F通路・会議室1～3の蛍光灯をLED蛍光灯に変更するなど施設整備を積極的に行った。</p> <p>・窓口、電話、利用報告書のアンケート、意見箱などで意見収集し、運営サービス向上会議において改善案を検討して、サービスの改善につなげている。また、施設利用者のアンケートについて、分析・改善内容を館内に掲示している。</p> <div data-bbox="1030 734 1971 893" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・利用者数： 416,152人 （対前年度 +0.3%、対H18年度（制度導入前） +25.8%）</p> <p>・施設稼働率： 74.4% （対前年度 +1.5%、対H18年度（制度導入前） +13.2%）</p> </div> <p>・これまでの事業を踏襲し、自主事業の受講生や文化団体活動の成果発表として、さまざまな発表会を開催するなど、鑑賞機会の提供にとどまらず、体験や文化活動、発表などの機会提供を通じて、人材の育成などの観点から、地域文化の振興に寄与する事業を実施している。</p> <p>・これまで掲げてきた「文化団体育成事業」、「舞台芸術振興事業」、「地域文化拠点事業」の3つの柱に加え、「海外との地域交流事業」の柱を追加し企画・実施しており、地元・舞台芸術団体と積極的に連携し新作の演劇公演や、次年度以降の海外公演を目指した演劇作品を創作し上演している。</p> <div data-bbox="1030 1197 1971 1436" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自主事業： 48事業（うち、新規7事業）（対前年度 ±0事業） 参加者数： 61,161人（対前年度 △14.3%）</p> <p><主なもの> 「ももちパレス・オープンデー」、新「全国シニア演劇大会」、 「ももち環境フェスタ」、 新「ギンギラ太陽's西新商店街物語創作ワークショップ公演」、 新「ガルシア・ロルカ悲劇3部作」など</p> </div> |

| 大項目 | 事業計画（取り組みや改善の内容等） | 管理運営の概要 |
|------------------|---|---|
| ③経営（収支）改善 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ムダを削るがムリはしない」を前提に、業務量の変化に応じた柔軟な管理体制・本社支援体制を構築し、効率的な経営を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・施設稼働率向上に伴い電気使用量は増加したが、経費削減の取組みとして新電力を導入した結果、電気使用料金を約10%減少させている。 ・利用料金収入実績： 81,749千円 (対前年度 +1.7%、対H18年度（制度導入前） +74.8%) ・委託料（指定管理料）： 79,519千円 (対前年度比 +0.3%、対H18年度（制度導入前） △56.9%) |
| ④職員確保方策及び健全な財政基盤 | <ul style="list-style-type: none"> ・統括管理責任者のほか、適切な経験を有する人材を配置し、利用状況に合わせた効率的かつ職員に無理のない柔軟なシフト体制を構築することで、安定的なサービスを提供するとともに利用者サービスの向上につながる体制づくりに努める。 ・指定管理者として望まれる安定した経営と財政基盤を構築する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・継続した事業実施やサービスの質の確保のため、専門的知識・技術を有する者や現場対応経験者を配置するなど、適正な人員体制を確保している。 ・接遇や人権研修など、様々な職員研修を実施し、職員のサービス・コンプライアンスの意識・能力の向上に努めている。 ・当期損益は継続して黒字計上しており、安定した経営状況を維持している。 |
| ⑤施設管理上の個別事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護や情報公開に関する規程を整備し、適正な個人情報保護及び情報公開に努める。 ・災害等の緊急時には策定したマニュアルに即した対応を行い、利用者の安全確保に努めるとともに、危機管理に対する職員の教育を徹底する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の保護、情報開示について、マニュアルや規程の整備、職員研修の実施により適切な対応に努めている。 ・災害、暴力的行為等に迅速かつ適切な対応ができるよう、マニュアルの整備と職員への周知、訓練を実施している。 |

2 点検結果

| | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> A+ （提案内容を上回った） | <p>【総合コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの県民に幅広いジャンルの芸術鑑賞や体験、活動、発表など、多様な文化活動の場を積極的に企画・提供し、地域の文化団体等と連携した多彩な自主事業を実施している。 ・「自主事業の見直しによる地元・舞台芸術団体との連携事業」を年度目標に掲げ、地元劇団と連携し新作を上演したほか、「海外との地域交流事業」を新たな柱として、福岡とアジア地域の相互理解を目指した文化交流に取り組んでいる。 ・施設の機能維持と安全性の保持に配慮した迅速で適切な対応を行うとともに本館2F～4F・大ホールのトイレ便座をウォシュレット機能付きに変更するなど、利便性とサービスの向上にも努めている。 ・施設サービスの向上と積極的な営業による新規利用者の獲得に努めた結果、施設利用者数・利用料金収入・施設稼働率はともに増加している。 <p>以上のとおり、施設の設置目的に沿って、鑑賞から参加まで多様な文化活動の場を積極的に提供し、効果的な運営がなされている。</p> |
| <input checked="" type="checkbox"/> A （提案内容をやや上回った） | |
| <input type="checkbox"/> B （概ね提案内容どおり） | |
| <input type="checkbox"/> C （提案内容をやや下回った） | |
| <input type="checkbox"/> D （提案内容を下回った） | |